

KITA-NET FORUM 2014



命の力をはぐくむ

～北海道の環境教育、これまで・これから～

北海道環境活動交流フォーラム

12月6日(土) 10:00～17:15
(9:40開場)

札幌市教育文化会館 305号室
(北海道札幌市中央区北1条西13丁目 電話 011-271-5821)

参加費(全プログラム参加可)

(交流会参加費は別途)
12月3日までにお申込みください。

きたネット会員/1000円・一般/1300円



市営地下鉄東西線「西11丁目駅」徒歩5分

Profile

高木 晴光氏 (NPO 法人ねおす 理事長)

千葉県生。北海道大学農学部卒業。商社勤務中、レジャー・健康・社会教育事業のソフト(プログラム開発)を手がける。1992年北海道自然体験学校NEOS設立。1999年NPO法人化。現在は黒松内町を拠点に、「黒松内ぶなの森自然学校」代表として「自然と人、人と人、社会と自然」をテーマに、地域づくりやコミュニケーションのワークショップを行っている。NPO法人自然体験活動推進協議会(CONE)理事。

山中 康裕氏 (北海道大学大学院環境科学院 教授)

1964年東京都生。1991年東京大学気候システム研究センター助手。2010年より現職。専門は地球温暖化。IPCC第5次報告書には、指導学生の博士論文2編を含む10編が引用される。「社会に何かを生み出す人材を育てよう」を理念として、環境科学院に実践環境科学コース設立。学外のさまざまな団体と連携し、学生とともに課題に取り組む。お互いの人生を豊かにする人と知り合っていく楽しさで日々過ごしている。北海道環境教育等推進協議会委員長。

能條 歩氏 (北海道教育大学岩見沢校 教授)

1963年札幌市生。博士(地球環境科学)。道立高等学校教諭、今金町教委を経て現職。日本環境教育学会北海道支部長、小学校理科教科書の執筆などのかかわり、NPO法人北海道自然体験活動サポートセンター理事長として、若手指導者の育成と活動の場を提供する活動に取組む。北海道環境教育等推進協議会副委員長。

名内 隆氏

(栗山町教育委員会 社会教育グループ 主査)

1971年由仁町生。1990年に栗山町役場に奉職。2007年から教育委員会社会教育グループに配属。栗山町の自然を活かした「ふるさと自然体験教育」を立上げる。自然環境教育、青少年育成担当。北海道環境教育等推進協議会委員。

田中 住幸氏

(NPO法人あそベンチャースクール 代表理事)

1972年大阪府生。学生時代の道内でのキャンプボランティアの経験がきっかけに、卒業後、北海道に移住。20年間子ども自然体験の指導に携わる。2002年同スクール立上げ。幼稚園・保育園への自然体験支援事業、保育者養成校の講師、特に幼児期の自然体験、環境教育の普及に力を入れている。北海道環境教育等推進協議会委員。

坂本 純科氏 (NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 代表)

1991年北海道大学農学部卒業後、札幌市職員(環境局)。2004年退職。環境、行政、農業、福祉などのNPOを経て「エコビレッジ」に出会う。2006年から3年間ヨーロッパに滞在し、様々なエコビレッジを訪問。2009年エコビレッジライフ体験塾設立。2012年から余市を拠点に、地域資源を活用し、集落全体をエコアップするための余市エコカレッジを開講して現在に至る。

後藤 菜摘子氏

(手稲さと川探検隊 事務局長)



2004年より手稲さと川探検隊スタッフ。北海道立衛生学院卒業後、看護師として重度心身障がい者施設で超重症児を受け持ち、「いのちとは何か」について考え続ける。現在は石狩市保健福祉部子ども相談センターで家庭児童相談員として勤務。子育てや虐待問題に日々対応し、勉強する毎日。虐待未然防止事業「子育て練習講座そだてー」の講座を担当中。大学生と高校生の息子の母。

内山 到氏

(公益財団法人北海道環境財団 協働推進課長)



1968年札幌市生。1998年に同財団に入り、水俣・札幌展、低炭素型交通・まちづくりの啓発事業、環境省北海道環境パートナーシップオフィスを立上げ等に関わる。環境中間支援会議・北海道の事務局として『もうひとつの北海道環境白書』の製作等を担当。趣味は自転車や飼い犬と遊ぶこと。北海道環境教育等推進協議会委員。きたネット理事。

麻生 翼氏 (NPO 法人森の生活 代表)

1984年愛知県生。北海道大学農学部森林科学科在籍中に訪れた北海道の農村に魅せられる。大学卒業後、関西の種苗会社勤務を経て、2010年NPO法人森の生活に参画。2013年6月から、同法人の代表理事に就任、現在に至る。きたネット理事。

草野 竹史氏 (NPO 法人 ezorock 代表理事)

1979年札幌市生。酪農学園大学環境システム学部卒。2001年仲間と共に「環境NGO ezorock」設立。「RISING SUN ROCK FESTIVAL」における環境対策活動を中心に活動を展開。卒業後、建設コンサルでまちづくりや環境、観光などの調査に携わる。2005年退職。2006年4月ezorock代表理事に就任。2013年NPO法人化。現在に至る。きたネット理事。

10:00 開会式

ごあいさつ 秋山 孝二 (認定NPO 法人北海道市民環境ネットワーク 理事長)
井下 龍司 (一般財団法人セブン-イレブン記念財団 理事・事務局長)

10:15～11:10 Program1 基調講演

DSR=どうにかする力
～自然を体験する中で、人は何を感じ、何を身につけていくのか～

高木 晴光氏 (NPO 法人ねおす 理事長)

自分を取り巻く社会環境の中で、いいこと、悪いことを直感的に感じ、それを客観的に分析把握し、その先に起こることを洞察する。次に何をすべきか、ベストな方法を考え、その場をベターにすべく、次の行動をとる。それが、イキルカ、ドゥニカスルカ、すなわち「DSR」。この力を子どもはもちろん、若者も年寄りも自然の中で養い続けることが大事です。

11:15～12:15 Program2 パネルディスカッション

私たちは何を伝えてきたのか。
今、伝えなければいけないものは何か

コーディネーター 高木 晴光氏

パネリスト 能條 歩氏 麻生 翼氏
草野 竹史氏 坂本 純科氏

「キョウイク」という言葉には何か堅苦しいイメージが付きます。また、「カンキョウ」という人と人それぞれが意識するその範囲や関係性が異なりますが、ここでは「北海道」という自然環境と人々の暮らし方に焦点を当てながら、世界に発信できるような北海道型環境教育のあり方について考えます。また、2011年3月11日の後「ふくしまキッズ」に関わったパネリストの方には、北海道の自然が福島の子どもたちにどんな役割をはたしているかについてお話いただきます。

Program3 TALKING TIME!!

活動や環境教育について、3つのブースで自由に語っていただきます

13:15～13:45 能條 歩氏 麻生 翼氏 草野 竹史氏

15:15～15:45 山中 康裕氏 田中 住幸氏 後藤 菜摘子氏

13:50～15:10 Program4

北海道環境教育等行動計画について考える
共催 北海道環境教育等推進協議会/北海道

計画の概要

北海道環境生活部環境局環境推進課 主幹 今村 嘉幸氏

パネルディスカッション

「産官学民」の連携をどう進めていくのか

座長 山中 康裕氏 (北海道環境教育等推進協議会 委員長)

パネリスト 田中 住幸氏 名内 隆氏
内山 到氏 後藤 菜摘子氏

コメンテーター 能條 歩氏・同協議会のみなさん

進行 宮本 尚 (きたネット 常務理事)

2014年3月に策定された「北海道環境教育等行動計画」は、環境を保全する人づくりを、産官学民の多様な主体の協働取組によって推進していくことが大きな柱となっています。本計画の目標実現のために、NPOや市民がどう参画し、どんな役割を担うのか、どんなプラットフォームが必要なのか、といったポイントについてディスカッションします。

16:00～17:00 Program5

ワークショップ「自然と人の力でつくる未来」

立場やシゴト、地域、暮らし方が異なる参加者同士がその特徴を生かしながら連携・協働してできる、北海道・自然体験型環境教育プログラムの新しい種を見つけましょう。

冒頭発言・ファシリテーター 高木 晴光氏

進行アシスタント 草野 竹史・宮本 尚

17:00～17:15 閉会式

18:00～ 交流会 (会場未定)

参加申込書 FAX. 011-215-0149 FAX または郵送、E-mail で「きたネット事務局」へお申込みください (12/3 (水) 締切)

お名前(フリガナ)	男・女	参加プログラム ※申込み多数の場合先着順	午前	基調講演・パネルディスカッション	参加・不参加	
ご住所 〒	所属団体・企業・職業		午後	環境教育等行動計画・TALKING TIME!! ワークショップ	参加・不参加	
Tel			交流会 18:00～(会場未定・実費)			参加・不参加
Fax						
E-mail						

We love, We Save... きたネットとは

地球の森林の1/700が北海道にあります。多様な野生生物や植物がこの豊かな自然の中でいのちを育んでいます。「きたネット」は、この北海道の環境を守り、次の世代にひきついでいくために活動する、市民団体61団体(2014.11現在)と、活動に賛同する個人や企業が所属する、環境活動のネットワークです。

参加申込み

認定NPO法人 北海道市民環境ネットワーク「きたネット」

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目8番地 愛生館ビル5階

Tel. 011-215-0148 Fax. 011-215-0149 E-mail. office@kitanet.org

きたネットWeb http://kitanet.org きたネットFacebook https://www.facebook.com/kitanet.org

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

本フォーラムは一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成をいただき開催いたします。



http://kitanet.tv.blogspot.jp/

きたネットでは行事などの動画をインターネットで発信しています。本フォーラムの一部も後日録画配信を行う予定です。

きたネットは、一般財団法人セブン-イレブン記念財団から助成を受け、市民の環境活動を支援する「市民環境活動支援協定」を結び、北海道の自然環境を子どもたちの未来へ引き継ぐために活動を行っています。